

# 令和2年度 坂町議会『議員』の評価

評価期間

令和2年4月1日 ～ 令和3年3月31日

評価実施者

奥村 富士雄 年齢 73 才 議員経験年数 10 年

評価日

令和 3年 3月 31日

評価の分類

◎:「よくできた」 ○:「できた」 △:「努力が必要」 ×:「殆どできなかった」

主要評価項目	評価	評価理由	課題
<b>1. 議員活動の原則</b> 1) 議会において、特に、言論を尊重し、自らの発言に責任を持ち、意見を述べたか。	○	定例会で毎回一般質問を行うとともに、全員協議会や各常任・特別委員会などで積極的に意見を述べた。	議員全員の意見が活発に行われ、有効な合議ができるようにする。
2) 町民全体の代表者としての責務を深く自覚し、自己の能力を高める活動を積極的にしたか。	○	今後の防災活動などについて、県の防災研修や防災士としての研修を積極的に受講した。	能力は高めるとともに、研修成果を実践し、町民の信託に応えることである。
3) 個別的な事案の解決だけでなく、町民全体の生活の向上を目指して活動したか。	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住民協、ボランティアセンター運営委員会、商工会等と連携し活動をした。</li> <li>・議会選出監査委員として、坂町の月1回例月出納検査とともに、定例監査、決算審査を行った。</li> </ul>	今後とも各団体等との連携を図り、より活発に活動していく。
<b>2. 自由討議の拡大</b> 町政の課題や議会改革の推進について、議員相互間の自由討議（質問、討論）により議論を尽くして合意形成に努めたか。	○	常任・特別委員会等で自由討議は積極的に行ったが、議員の政策提案はできなかった。	議員提案の案件を、町民の意見を聞きながら、調査研究し、取り組む必要がある。
<b>3. 議会費および政務活動費</b> 政務活動費の使途は適正かつ活動に有効に使われたか。また、議長に対して、証書類を添付した報告書を提出したか。	△	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナの関係で視察・研修ができなかった。</li> <li>・議会報告として毎月一回広報紙を発行・配布して町民へ情報提供を行った。</li> <li>・大学生による議員インターンシップ活動を2回行い、坂町及び坂町議会の情報発信を行うとともに、若者の政治へ関心を持つことの研究をした。</li> </ul>	コロナ禍が収束し、研修や視察の再開ができるようになれば、参加し、成果を今後のまちづくりや議会活動に生かしていく。
<b>4. 選挙公約の評価</b> ① 豪雨災害復旧・復興による安全・安心の地域づくり ② 支えあい、子育てや高齢者にやさしい安心できる地域づくり ③ ウオーキング等で人と町の健康・生きがいのある地域づくり ④ 商工業の活性化、特産品の開発等で活力ある地域づくり ⑤ 協働で地方創生を目指し、元気な町づくり	○	(1) ボランティア活動、防災士ネットワークづくりと津波災害避難場所新設への取り組みをした。 (2) 住民協等活動に積極的に参加し取り組んだ。 (3) 産学官連携の月イチウオーキングに参加した。 (4) 商工会活動への参加、事業所支援や特産品開発等に取り組んだ。 (5) 横浜戸主会、住民協等町内団体活動を通じて地域づくりに取り組んだ。	(1) 防災活動と安全・安心な地域づくりの推進。 (2) 高齢者を支えあう地域づくりを引き続き推進していく。 (3) 引き続き取り組む。 (4) コロナによる事業支援やムラサキ麦を使った特産品等の開発 (5) 避難場所整備や防災に強い地域づくりへの取り組み